

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 4年 2月 4日
住 所 埼玉県比企郡嵐山町花見台10-7
県内企業等の名称 株式会社ヤナギサワ
代表者役職 氏名 代表取締役 柳澤智彦

株式会社ヤナギサワ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私達株式会社ヤナギサワは環境に優しい職場づくりを目指す中で、従業員の働きやすさを考えた空間を提供するとともに、その1人1人が切削加工のプロ集団として技術と管理を磨き、日々不良の低減を最優先課題として邁進することで、廃棄物を減らし、地球環境にとっても、弊社に関わる全ての人達にとっても、やさしいものづくりを継続して努力します。これらの取り組みにより、SDGsの達成に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①電気使用量の削減 2021年使用電力=3,951,623kw ②大気汚染につながるオイルミストの削減 オイルミスト濃度の削減 弊社60期 (2020.9~2021.8) 0.94mg/m ³	<2030年に向けた指標> ①電気使用量 10%減(395,162kw減) ②オイルミスト濃度 0.85mg/m ³ <取組開始3年後に向けた指標> ①電気使用量 2%減(79,032kw減) ②オイルミスト濃度 0.89mg/m ³
社会	・多様な人材の雇用 2021年時点 ①外国人雇用人数:23人/98人(23%) ②高齢者雇用人数: 7人/98人(7%)	<2030年に向けた指標> ①外国人雇用人数:15人増加 ②高齢者雇用人数:8人増加 <取組開始3年後に向けた指標> ①外国人雇用人数:10人増加 ②高齢者雇用人数:3人増加
経済	①技能検定合格者の増加 不良率低減に直結する技能検定合格者を増やし良品の安定供給や新規の受注につなげる。 2021年時点 15人/98人 ②DX推進(時間外労働時間の削減) 間接部門時間外労働 一人当たり 2021年時点 21時間/月	<2030年に向けた指標> ①10人増加 ②10時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> ①2人増加 ②16時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。